

鴨方中学校

シラバス

【 令和3年度 2学期 】

第1学年



氏名

国語	第1学年 2学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	国語1（光村図書）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次の通り。 （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し、適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につけることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。	
評価の観点	①知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、言語文化に親しんだり、正しく理解したりすることができる。
	②思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。
	③主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使用している。
評価の方法	・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・聞き取りテスト ・ワークシートへの記述内容 ・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み ・作品 ・発表内容 ・振り返り活動 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 〔推敲〕読み手の立場に立つ 言葉2 方言と共通語	・描写をもとに、登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・関連する本などを読み、自分の考えを広げる。 ・比喩の表現について理解して、描かれている内容を想像する。 ・場面と場面、場面と人物などの描写を結びつけて、作品を読み深める。 ・相手にとって必要な情報が明確に伝わるように、情報を整理してわかりやすく書く。 ・方言と共通語のそれぞれの特徴と役割を理解し、有効な使い分けについて考える。

社会	第1学年 2学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	中学生の地理（帝国書院）	新しい社会	歴史（東京書籍）

学習目標	(1)課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。 (2)広い視野をもって、平和で民主的な社会を担う公民として必要な力を身につける。		
評価の観点	① 知識・技能	・社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 ・様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。	
	② 思考・判断・表現	・社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。	
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ・ワークシートの内容 ・振り返りシート ・ノート（まとめ、整理） ・定期考査 ・小テスト ・課題（取組のようす） など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	○世界の諸地域	・世界の諸地域（ヨーロッパ州） （アフリカ州） （北アメリカ州）	・ヨーロッパ州では、国どうしの結びつきが強まることで起こる地域の変化を考え、まとめる。 ・アフリカ州の国々の経済における課題を理解し、多面的・多角的に考察し、まとめたことを発表する。 ・北アメリカ州で成長した巨大な産業について調べ、まとめる。
	○古代までの日本	・古代国家の歩みと東アジア世界	・東アジアとの交流の中で律令国家が成立していった流れをまとめる。
	○中世の日本	・武士の政権の成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・武士が政権を立てたことで起こった社会の変化を考え、まとめる。 ・東アジアでの変化が日本に与えた影響を考え、まとめる。

数学	第1学年 2学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがる 数学1（啓林館）		

学習目標	(1) 身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 (2) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとするすることができる。		
評価の観点	① 知識・技能	・数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 ・計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 ・ともなって変わる2つの数量について、表、式、グラフで表すことができる。	
	② 思考・判断・表現	・身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いて分かりやすくまとめることができる。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 ・自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。	
評価の方法		・授業観察（話し合い活動・発表） ・ノート ・振り返り活動 ・課題 ・定期テスト ・小テスト など	

学期	単元・課題	学習内容	学習活動の例
2学期	3章 方程式 1節 方程式	- 方程式とその解 - 方程式の解き方 - 比と比例式	- 等式$4x - 7 = 5$を成り立たせるxの値を考える。 $3x + 20 = 5$を解くと $x = -5$ $x : 6 = 7 : 3$を解くと $x = 14$ - 実際の問題を方程式を利用して解決する。 - 実際の問題を比例式を利用して解決する。
	2節 方程式の利用	- 方程式の利用 - 比例式の利用	
	4章 変化と対応 1節 関数 2節 比例	- 関数 - 比例の式 - 座標 - 比例のグラフ	yがxの関数であるか判断する。 $y = ax$で表されるとき、yはxに比例するという。 - 座標平面上の点の位置を表すことができる。 - 比例のグラフを書く。
	3節 反比例	反比例の式	$y = \frac{a}{x}$で表されるとき、yはxに反比例するという。 - 反比例のグラフを書く。
	4節 比例と反比例の利用	- 反比例のグラフ - 比例と反比例の利用	実際の問題を比例・反比例の特徴を利用して解決する。
	5章 平面図形 1節 直線と図形 2節 移動と作図 3節 円とおうぎ形	- 直線と図形 - 図形の移動 - 基本の作図 - 図形の移動と基本の作図の利用 - 円とおうぎ形の性質 - 円とおうぎ形の計量	- 直線や角、平行な関係を記号を使って表せる。 - 図形の移動の意味と性質について知る。 - 作図について学ぶ。 - 実際の問題を、図形の移動と基本の作図を利用して解決する。 - おうぎ形の性質を知る。 - おうぎ形の弧の長さ、面積を求めることができる。

理科	第1学年 2学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス1（啓林館）		

学習目標	○身のまわりの物質の性質、物質のすがたと熱による変化、光や音による現象など、物質や身近な物理現象に関係することを科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。 （1）身のまわりの物質や気体、水溶液などの性質、物質のすがたと温度による変化、光や音による現象について基本的な内容が理解できる。 （2）ガスバーナーなどの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。 （3）学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見い出すことができる。		
評価の観点	①知識・技能	- 密度を求めることで、物質を区別することが可能であることを理解している。 - 酸素や二酸化炭素などの気体の発生とその性質について理解している。 - 水溶液の性質やとけた物質を取りだす方法について理解している。 - 物質の状態変化やそのときの質量や体積の変化について理解している。 - 物質の融点や沸点を境に状態が変化することを理解するとともに、これを液体の混合物の分離に応用できることを理解している。 - 光の進み方（直進・反射・屈折）や物体などを、凸レンズを通して見たときの見え方について理解している。 - 音の伝わり方や速さ、音の大きさや高さについて理解している。 - ガスバーナーなどの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。	
	②思考・判断・表現	- 未知の物質の質量と体積に着目し、物質の密度を測定する実験を行い、その結果から物質名を推測し、説明することができる。 - 身近なものから発生する気体の性質を調べる実験を行い、その結果から推測される気体の物質名を科学的に説明することができる。 - 物質が水にとけるようすを粒子のモデルを使って説明することができる。 - 水溶液にとけた物質を取りだす実験を行い、その結果を100gの水にとける物質の最大の量（溶解度）と関連づけて説明することができる。 - 物質の状態変化を粒子のモデルを用いて説明することができる。 - 光の反射や屈折、凸レンズのはたらきについての実験を行い、その結果をもとに規則性を見だし、説明することができる。 - 音についての実験を行い、音の伝わり方や大きさ、高さを決める条件を見だし説明することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	- 物質の性質、物質のすがたと温度による変化、光や音による物理現象を調べる実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 - グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達のことを聞いたりし、科学的に探究しようとしている。	
評価の方法		- 授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） - 定期テスト - ワークシートへの記述の内容 - パフォーマンステスト - 章ごとの小テスト - 観察や実験のレポート - 自己評価シート - など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	身のまわりの物質	いろいろな物質とその性質	- 電子てんびんやメスシリンダーの使い方について学ぶ。 - 物質の密度の求め方について学ぶ。 - 密度を利用して物質を区別することができることを、実験を通して学ぶ。 - 物質の浮き沈みと密度との関連性について学ぶ。

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学期	身のまわりの物質	いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化	・実験を通して、酸素や二酸化炭素、アンモニア、水素の発生とその性質について学ぶ。 ・窒素や塩化水素などの気体の性質について学ぶ。 ・身のまわりにあるものから発生する気体について実験を通して学ぶ。 ・溶質、溶媒、溶液の関係について学ぶ。 ・物質が水にとけることを粒子のモデルを用いて学ぶ。 ・水溶液の濃さの表し方について学ぶ。 ・ろ過のしかたについて学ぶ。 ・100gの水に溶ける物質（溶質）の量と水の温度との関係性について学ぶ。 ・水に溶けている物質（溶質）を取り出す方法について実験を通して学ぶ。 ・純物質と混合物について学ぶ。 ・温度によって物質が状態変化することを学ぶ。 ・物質の状態変化と質量や体積の変化に関連性についてモデルを用いて学ぶ。 ・物質が状態変化するときの温度（融点や沸点）について実験を通して学ぶ。 ・液体どうしの混合物を加熱して1つの物質を取り出す方法（蒸留）について実験を通して学ぶ。
	光・音・力による現象	光による現象 音による現象	・光がまっすぐに進むこと（直進）について学ぶ。 ・光が鏡などに当たってはね返るときの進み方（反射）について実験を通して学ぶ。 ・鏡にうつる物体の見え方について実験を通して学ぶ。 ・凸レンズのはたらきについて学ぶ。 ・凸レンズを通して物体を見た時の見え方について実験を通して学ぶ。 ・音の伝わり方や速さについて実験を通して学ぶ。 ・音の大きさや高さを決める要素について実験を通して学ぶ。

音楽	第1学年 2学期	授業時間数	1.25時間/週
教科書（発行所）	音楽のおくりもの1 器楽（教育出版）		

学習目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。		
評価の観点	①知識・技能	・歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、言葉の発音に注意して歌うことができる。 ・アルトリコーダーで、曲に合った息使いやタンギングで演奏することができる。 ・身近な言葉を音符であらわすことができる。 ・曲想の変化を物語の進行と関わらせながら鑑賞することができる。	
	②思考・判断・表現	・詩の内容を理解して、それを音楽でどのように表しているか気づき、曲にふさわしい表現を工夫することができる。 ・旋律やリズムなどの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
評価の方法		・実技テスト ・授業プリント ・ワークシートへの記述 ・定期考査 ・授業観察（個人練習、グループ活動） ・ふり返し活動 ・課題 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	歌唱	赤とんぼ	・速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫する。
		くいしんぼうのラップ	・全体の構成を理解して表現を楽しむ。
	器楽	アルトリコーダー	・リコーダーの音色と奏法の関わりを理解したり、タンギングや両手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現する。
	創作	言葉でリズム	・身近な言葉を音符であらわし、楽譜で表現する。
	鑑賞	魔王	・曲想の変化を物語の進行と関わらせながら鑑賞する。

美術	第1学年 2学期	授業時間数	1.25 時間／週
教科書（発行所）	美術1 美術との出会い（日本文教出版）		

学習目標	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫できる。 (2) 美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。 (3) 創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。		
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。	
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分や他の人の作品を自分なりに批評したりすることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。	
評価の方法		・授業観察 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・振り返り活動 ・鑑賞プリント ・作品 ・定期考査 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	絵文字のデザイン	文字と絵を組み合わせたオリジナルの絵文字	・画用紙に絵文字のデザインを描き、絵の具で色を塗る。 ・クラスで完成した作品の鑑賞会を行う。
	基礎デッサン	プリントによるデッサンの基礎学習 スケッチブックに体育館シューズのデッサンをする	・鉛筆によるタッチや明暗の表し方、形のとらえ方などを知り、練習する。 ・体育館シューズを見て、立体感や質感などを意識しながらデッサンをする。
	粘土で食品サンプルストラップ	粘土を使って食品サンプルのストラップを2つ制作する	・本物の野菜・果物を見ながら、本物そっくりの食品サンプルを作る。 ・ワークシートにアイデアスケッチを描き、フェイクフードの食品サンプルを作る。
	シュルレアリスム(鑑賞)	シュルレアリスムの画家の作品を鑑賞する	・シュルレアリスムの画家の作品を鑑賞し、作品の良さを感じる。

保健体育	第1学年 2学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	新しい保健体育（東京書籍）		

学習目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。		
評価の観点	① 知識・技能	・それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。 ・基本的な技能を身に付けることができる。	
	② 思考・判断・表現	・運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを認めようとするができる。 ・心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。	
評価の方法		・授業観察 ・スキルテスト ・保体資料ノート ・振り返りシート ・定期考査 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動	・ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。
	器械運動	マット運動	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行う。 ・条件を変えた技や発展技を行う。 ・技を組み合わせる。
	球技	ゴール型 ベースボール型 ネット型	・基本的な動作・用語を覚える。 ・基本的な技能を習得する。 ・ルールを覚え、試合をする。
	武道	柔道	・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方について学ぶ。
	保健	心身の機能の発達と心の健康	・体の発育・発達、呼吸器・循環器の発育・発達、生殖機能の成熟、異性の尊重と性情報への対処、心の発達について学ぶ。

技術	第1学年2学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。
------	---

評価の観点	① 知識・技能	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけることができる。
	② 思考・判断・表現	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決できる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとするすることができる。
評価の方法	・授業態度 ・自己評価 ・レポート ・発表 ・作品 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	1 編 材料と加工の技術	身の回りの材料と加工の技術	身の回りの製品で使われている材料と加工の技術を調べ、まとめる。
	第1章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	丈夫な構造の特徴	部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。
	第2章 材料と加工の技術による問題解決	問題を発見し、課題を設定	身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。
		試作品の製作	バルサ材を用いて、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。
		試作の評価	試作品を評価し、改善・修正する方法について考える。

家庭	第 1 学年 2 学期	授業時間数	1 時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）		

学習目標	(1) 栄養素の種類・働き、食品の栄養的な特徴がわかる。 (2) 中学生の1日に必要な食品の種類と量を考えた1日分の献立作成の方法がわかり、課題を見つけ改善しようとする力を身に付ける。 (3) 食品の特徴を考えた調理の方法を知り、1食分の日常食を調理することができる。		
評価の観点	①知識・技能	・健康に良い食習慣がわかる。 ・栄養素の種類と働きを知り、食品の栄養的な特徴がわかる。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と量を知り、献立作成の方法がわかる。	
	②思考・判断・表現	・中学生の1日分の献立について問題を見つけ、その中から課題を決め、解決策を考えながら、考察したことを文章で表現することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現に向け、中学生の栄養的課題を見つけ、改善・工夫・創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々とよりよい生活の実現に向け、日常食の調理・地域の食文化の課題解決に向けて取り組み、改善・実践しようとしている。	
評価の方法		・授業態度 ・課題 ・プリント ・レポート ・発表 ・振り返り活動 ・定期テスト ・ワークシートへの記述 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学期	1 編 私たちの食生活 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴	・どうして食事をするか ・私たちの食生活 ・栄養素ってなんだろう ・中学生に必要な栄養 ・食品に含まれる栄養素 ・何をどれだけ食べるか ・バランスよい献立作り	・生活の中で食事が果たす役割について知る。 ・健康に良い食習慣について知る。 ・栄養素の種類とはたらきについて知る。 ・中学生に必要な栄養の特徴について知る。 ・身近な食品の栄養的特徴について知る。 ・6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について知る。 ・献立作成の手順を知り、一日分の献立を作成する。
	2 章 調理のための食品の選択と購入	・食品の選択と購入 ・生鮮食品の特徴 ・加工食品の特徴 ・食品の保存と食中毒防止	・食品の選択と購入のために必要な情報について知る。 ・生鮮食品の特徴や表示の内容について知る。 ・加工食品の特徴や表示の内容について知る。 ・食品の適切で安全な扱い方について知る。
	3 章 日常食の調理と地域の食文化	・日常食の調理	・安全と食品の特徴から実践可能な1食分の調理の計画をする。

外国語科の目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

領域別の目標					評価の方法
聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	
ア はっきりと話されれば、視覚情報等を参考に、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、視覚情報等を参考に、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、視覚情報等を参考に、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	ア 関心のある事柄について、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、メモ等を活用すれば、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、メモ等を活用すれば、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動 ・スキット作り ・授業観察(ペアワーク・グループワーク) ・言語活動への取り組み ・課題(自分なりに工夫した取り組みなど) など



2 学期	学期末の言語活動(パフォーマンス評価)	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
	【書くこと】町や地域のおすすめの場所などを調べて、その魅力などを紹介するタウンガイドを作ることができる。	「自分の町しうかい」をすることができる。	日本のことを紹介することができる。

	中心となる言語活動	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
Reading Information2	観光マップを読んで、自分が必要とする情報を読み取る。		観光マップを読んで、自分が必要とする情報を読み取ることができる。					
Take Action! Talk4	海外からの旅行者に支援を申し出る。			困っている海外からの旅行者に道案内をすることができる。		宝物への道案内をすることができる。		
Take Action! Listen4	ボイスメッセージを聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る。		ボイスメッセージを聞いて、自分が必要とする情報を聞き取ることができる。					
Lesson6	今年一番思い出に残ったできごとについて、絵日記を書く。		日本を旅行した感想などが書かれたブログ記事を読んで、その概要を把握することができる。			今年一番思い出に残ったできごとを絵日記にして、まとまりのある英文を書くことができる。		思い出に残っている学校行事を絵本にまとめて発表することができる。
GET Plus4	所有者をたずねる表現を用いて対話する。			所有者をたずねる表現を用いてたずねたり答えたりすることができる。		持ち主をたずねた文を正確に書くことができる。		
Take Action! Talk3	買い物で訪れたお店で店員と対話する。			買い物で訪れたお店で店員と即興で対話することができる。				
Take Action! Listen3	映画の紹介を聞いて、概要を捉える。	映画の紹介を聞いて、話の全体的な内容を聞き取ることができる。						
Lesson5	日本の学校生活や行事を紹介するメールを書く。		アメリカの友だちから送られてきたメールを読んで、その概要を把握することができる。			アメリカの友だちに、日本の学校生活や行事を紹介するメールをまとまりのある英文で書くことができる。		
GET Plus3	二者択一をたずねる表現を用いて対話する。			どちらの食べ物かほしいかたずねたり答えたりすることができる。		どちらかほしいかたずねた文を書くことができる。		
Take Action! Talk2	放課後の予定について対話する。			放課後の予定についてあいづちをうちながら対話することができる。				
Take Action! Listen2	競技場でのアナウンスを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。	競技場でのアナウンスを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。						
Lesson4	サイコロを使って即興で人物紹介をする。		イギリスの都市について書かれた紹介記事を読んで、その概要を把握することができる。		身近な人や有名人などについて、即興で人物紹介をすることができる。	イベントの申込書に正確に記入することができる。		

鴨方中学校

シラバス

【 令和3年度 2学期 】

第2学年



氏名

教科名	第2学年 2学期	授業時間数	4時間／週
教科書（発行所）	国語2（光村図書）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次の通り。 （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し、適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につけることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。		
評価の観点	① 知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、言語文化に親しんだり、正しく理解したりすることができる。	
	② 思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。	
評価の方法		・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・聞き取りテスト ・振り返り活動 ・ワークシートへの記述内容 ・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み ・作品 ・発表内容 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	文法への扉1	単語をどう分ける	・自立語について、分類の観点や各品詞の性質などを理解する。
	4 人間のきずな	盆土産 字のない葉書 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう 表現の効果を考える	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考える。 ・場面の状況を踏まえて登場人物の言動の意味を考え、人柄や心情を読み取る。
	5 論理を捉えて	言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音を持つ漢字 モアイは語る——地球の未来 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 討論 異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう	・随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 ・文章の構成や、人物や出来事を語る時の表現から、筆者の思いを考える。
			・意見を裏付けるための、適切な根拠のあり方について理解する。 ・自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。

社会	第2学年 2学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	地理：帝国書院 歴史：東京書籍		

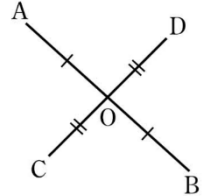
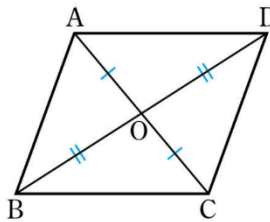
学習目標	(1)課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象への見方や考える力を身につける。 (2)広い視野をもって、平和で民主的な社会を担う公民として必要な力を培う。		
評価の観点	①知識・技能	- 社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 - 様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。	
	②思考・判断・表現	社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。	
評価の方法		- 授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） - ワークシートの内容 ・ 振り返りシート ・ ノート（まとめ、整理） - 定期考査 ・ 小テスト ・ 課題（取組のようす）	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	○日本の諸地域	- 九州地方 - 中国・四国地方 - 近畿地方 - 中部地方	- 日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 - 九州地方については自然環境、中国・四国地方については交通や通信、近畿地方については人口や都市・村落、中部地方については産業を中心に、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。 - 日本のそれぞれの地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。
	○開国と近代日本の歩み	- 欧米における近代化の進展 - 欧米の進出と日本の開国	- なぜ欧米諸国は世界に先がけて発展することができたのかを考察し理解する。 - 欧米とアジアの関係が変化する中で、なぜ江戸幕府がほろんだのかを調べまとめる。

数学	第2学年 2学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがる 数学2（啓林館）		

学習目標	(1) 身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 (2) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとするすることができる。		
評価の観点	① 知識・技能	- 数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 - 計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 - ともなって変わる2つの数量について、表、式、グラフで表すことができる。	
	② 思考・判断・表現	- 身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いてわかりやすくまとめることができる。 - 図形の性質を論理的に確かめることができる。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	- 数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 - 自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。	
評価の方法		・授業観察（話し合い活動・発表） ・ノート ・振り返り活動 ・課題 ・定期テスト ・小テスト など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動の例
2学期	3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ	- 一次関数 - 一次関数の値の変化 - 一次関数のグラフ - 一次関数の式を求めること	- 一次関数$y = -6x - 5$で、xの増加量が1のときのyの増加量を求める。 $y = 3x - 4$のグラフを書く。 - 一次関数のグラフから、一次関数の式を求める。 $y = 2x + 2$について、xの変域が$-3 \leq x \leq 2$のときのyの変域を求める。
	2節 一次関数と方程式	- 方程式とグラフ - 連立方程式とグラフ	- グラフが点(5,1)を通り、傾き-3の直線である一次関数の式を求める。 - 連立方程式$x + y = 7$、$2x + y = 10$の解をグラフを使って求める。
	3節 一次関数の利用	一次関数の利用	一次関数を利用して、グラフからダム貯水量を求める。

2 学 期	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2節 証明	• 角と平行線 • 多角形の角 • 三角形の合同 • 証明とそのしくみ • 証明の進め方	• 平行線の性質を使って、角の大きさを求める。 • 多角形の内角の和を求める。 • 合同な三角形を見つけ、あてはまる合同条件を答える。 • 仮定と結論について学習し、証明の仕方を学ぶ。 • 線分 AB と CD が点 O で交わっているとき、「$AO=BO$、$CO=DO$」ならば、「$AC=BD$」であることを証明する。 
	5章 1節 三角形 2節 四角形	• 二等辺三角形 • 直角三角形の合同 • 平行四辺形の性質 • 平行四辺形になるための条件	• 二等辺三角形の性質を使って、角の大きさを求める。 • 二等辺三角形の性質を証明する。 • 仮定と結論を入れかえた場合、どうなるかを考える。 • 2つの直角三角形が合同であることを証明する。 • 平行四辺形の性質を証明する。 • 四角形 ABCD で、対角線の交点を O とするとき、「$AO=CO$、$BO=DO$」ならば、四角形 ABCD は平行四辺形である」ことを証明する。 

理科	第2学年 2学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス2（啓林館）		

学習目標	○物質の成り立ちとさまざまな化学変化、気圧や気温、湿度などの気象要素の変化と天気の変化など、物質や気象に関係することを科学的に探究するために、必要な知識や技能を身につける。 （１）物質の成り立ちやさまざまな化学変化、気象要素の変化と天気の変化などに関する基本的な内容が理解できる。 （２）ガスバーナーなどの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。 （３）学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見いだすことができる。		
評価の観点	①知識・技能	- 物質の成り立ちやさまざまな化学変化について理解している。 - 化学変化の前後での質量の変化について理解している。 - 気圧や気温、湿度などの気象要素について理解している。 - 霧や雲のでき方と空気中の水蒸気の量との関係性について理解している。 - 高気圧や低気圧、前線などによる大気の動きが天気と関係していることを理解している。 - ガスバーナーなどの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。	
	②思考・判断・表現	- 物質を分解したり結びつけたりする実験を行い、このときに起こる化学変化を物質をつくる粒子のモデルを用いて説明することができる。 - 物質の化学変化と質量の変化との関係性を調べる実験を行い、その結果から反応前後での物質の質量の変化の規則性を見出し、説明することができる。 - 校庭などでの気象観測や過去のデータから、気温や湿度などの気象要素の変化と天気との関係を見出し、説明することができる。 - 空気中にふくまれる水蒸気が水滴に変化する実験を行い、雲や霧の発生についての規則性を見出し、説明することができる。 - 過去の天気図や気象観測のデータから、高気圧や低気圧、前線などによる大気の動きと天気の変化との関係性を見出し、説明することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	- 物質の成り立ちとさまざまな化学変化、気圧や気温、湿度などの気象要素の変化と天気の変化などについての観察・実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 - グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりし、科学的に探究しようとしている。	
評価の方法		- 授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） - 定期テスト - ワークシートへの記述の内容 - パフォーマンステスト - 章ごとの小テスト - 観察や実験のレポート - 自己評価シート - など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	化学変化と原子・分子	物質の成り立ち 物質の表し方	- 水に電流を流して分解したときの変化について実験を通して学ぶ。 - 物質をつくっている粒子（原子）について学ぶ。 - 原子が結びついてできる粒子について学ぶ。 - 物質を表す記号（元素記号）と周期表について学ぶ。 - 物質を表す式（化学式）について学ぶ。 - 単体と化合物について学ぶ。 - 化学変化を表す式（化学反応式）について学ぶ。

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学期	化学変化と原子・分子	さまざまな化学変化	- 鉄と硫黄の混合物を加熱したときに起こる化学変化について実験を通して学ぶ。 - 物質が酸素と結びつくときに起こる変化について実験を通して学ぶ。 - 酸化物から酸素を取り除くときに起こる変化について実験を通して学ぶ。 - 温度が変化する化学変化について実験を通して学ぶ。
	地球の大気と天気の変化	化学変化と物質の質量	- 化学変化の前後での物質全体の質量の変化について実験を通して学ぶ。 - 金属と酸素が結びつく化学変化における金属の質量と酸素の質量との関係性について実験を通して学ぶ。
		地球をとり巻く大気の様子	- 大気の中ではたらく力（大気圧）について学ぶ。 - 面に加わる力（圧力）について学ぶ。 - 気温、湿度、風向、風速、雲量などの気象要素について学ぶ。
		大気中の水の変化	- 霧のでき方について学ぶ。 - 雲のでき方について実験を通して学ぶ。 - 雨や雪のでき方について学ぶ。 - 地球をめぐる水の循環について学ぶ。 - 空気中にふくまれる水蒸気の量と水蒸気が水滴に変わりはじめる温度との関係について実験を通して学ぶ。 - 空気中にふくまれる水蒸気の量から湿度を計算する方法を学ぶ。
		天気の変化と大気の動き	- 上空の気圧の分布の様子（気圧配置）や等圧線について学ぶ。 - 高気圧・低気圧と風が吹くしくみとの関係性について学ぶ。 - 高気圧や低気圧の移動による天気の変化について学ぶ。 - 日本付近の気団について学ぶ。 - 前線のでき方や種類、特徴について学ぶ。 - 前線の通過と天気の変化との関連性について学ぶ。
		大気の動きと日本の四季	- 地球規模での大気の循環について学ぶ。 - 陸と海の間で起こる大気の移動について学ぶ。 - 季節風が吹くしくみについて学ぶ。 - 日本の四季の天気の特徴について学ぶ。 - 台風について学ぶ。 - 根拠をもって次の日の天気を予想できるのか実習を通して学ぶ。 - 天気の変化がもたらす恵みや災害について学び、自分たちでできる防災や減災について学ぶ。

音楽	第2学年 2学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	音楽のおくりもの 中学音楽2・3上下（教育出版）		

学習目標	（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 （２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。		
評価の観点	①知識・技能	・歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、パートの役割を感じながら歌うことができる。 ・アルトリコーダーで、曲に合った息使いやタンギングで演奏することができる。 ・オーケストラの音色や、ソナタ形式の特徴を理解する。	
	②思考・判断・表現	・歌詞の内容を理解して、それを音楽でどのように表しているか気づき、曲にふさわしい表現を工夫することができる。 ・旋律や強弱などの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 ・音色、リズム、旋律、速度などの特徴を感じ取りながら、オーケストラのよさを味わうことができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
評価の方法		・実技テスト ・授業プリント ・ワークシートへの記述 ・定期考査 ・授業観察（個人練習、グループ活動） ・ふり返し活動 ・課題 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	歌唱	ふるさと	・歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌う。
	器楽	アルトリコーダー	・パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏する。
	創作	言葉でリズム	・身近な言葉を音符であらわし、楽譜で表現する。
	鑑賞	オーケストラ オペラ「アイダ」 バレエ	・曲想と音楽の構成を関わらせて味わいながら鑑賞する。 ・オーケストラの豊かな響きを感じ取る。 ・音楽と舞台による表現の関連を考えながら鑑賞する。 ・他の芸術と関係する音楽の役割や効果を聴き取る。 ・音楽と舞台の表現を関連づけながら鑑賞する。

美術	第2学年 2学期	授業時間数	1 時間／週
教科書（発行所）	美術2・3上下 学びの実感と広がり、学びの探求と未来（日本文教出版）		

学習目標	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 (2) 美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできる。 (3) 創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。		
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。	
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分や他の人の作品を自分なりに批評したりすることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。	
評価の方法		・授業観察 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・振り返り活動 ・鑑賞プリント ・作品 ・定期考査 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学期	ライトスクラッチ	アクリル板にニードルで絵を描く	- 透明なアクリル板にニードルで絵を描き、LED ライトで照らす。 - クラスで完成した作品の鑑賞会を行う。
	アートフラワーの制作	色和紙を使って立体的な造花を制作する	- 大切な人に贈るアートフラワーのアイデアスケッチを描く。 - 色和紙を使って、立体的なアートフラワーを制作する。 - クラスで完成した作品の鑑賞会を行う。
	ジャポニスム（鑑賞）	ジャポニスムに関連する作品の鑑賞	ジャポニスムに関連する作家と作品について学び、日本の浮世絵の良さを改めて感じる。

保健体育	第2学年 2学期	授業時間数	3時間／週
教科書（発行所）	新しい保健体育（東京書籍）		

学習目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。		
評価の観点	① 知識・技能	・それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。 ・基本的な技能を身に付けることができる。	
	② 思考・判断・表現	・運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを認めようとするができる。 ・心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。	
評価の方法		・授業観察 ・スキルテスト ・保体資料ノート ・振り返りシート ・定期考査 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動	・ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。
	器械運動	マット運動	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行う。 ・条件を変えた技や発展技を行う。 ・技を組み合わせる。
	球技	ゴール型 ベースボール型 ネット型	・基本的な動作・用語を覚える。 ・基本的な技能を習得する。 ・ルールを覚え、試合をする。
	武道	柔道	・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方について学ぶ。
	保健	傷害の防止 健康的な生活と疾病の予防	・応急手当の意義と方法、心肺蘇生法、生活習慣病の起こり方、生活習慣病の予防、がんの予防について学ぶ。

技術	第2学年2学期	授業時間数	1 時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。
------	---

評価の観点	①知識・技能	生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解することができる。
	②思考・判断・表現	エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	自分なりの新しい考え方や他者のアイデアを尊重して、他者と協力して製作に取り組むことができる。
評価の方法	・授業態度 ・自己評価 ・レポート ・発表 ・作品 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学期	3編 エネルギー変換の技術	エネルギー変換の技術とは何だろう	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。
	第1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	発電の仕組みと特徴 電気回路、電気機器を安全に使用するための技術について考えよう	・発電の仕組みと特徴についてまとめる。 ・電気を安全に使うための技術の工夫について調べ、まとめる。
	第2章 エネルギー変換の技術による問題解決	電気回路を設計・製作しよう 問題解決の評価、改善・修正	・安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行う。 ・製作品を評価し、改善・修正する方法について考える。

家庭	第2学年 2学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）		

学習目標	(1) 災害時の備蓄食料を日常的に使いながら備える方法について知り、家庭での実践に繋げる。 (2) 各食品の特徴を知り、適切に選択する方法を知る。 (3) 各食品の特徴を知り、適切に調理する方法を知る。		
評価の観点	①知識・技能	・日常的に災害時の食料を備える方法がわかる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択方法がわかる。 ・食品や調理器具を衛生的に扱う方法と食品の特徴を踏まえた調理の仕方がわかる。	
	②思考・判断・表現	・災害時の食事と日常食の調理に関する課題を決め、解決策を考えながら、考察したことを文章で表現することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現に向け、中学生の栄養的課題を見つけ、改善・工夫・創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々とよりよい生活の実現に向け、日常食の調理・地域の食文化の課題解決に向けて取り組み、改善・実践しようとしている。	
評価の方法		・授業態度 ・課題 ・プリント ・レポート ・発表 ・振り返り活動 ・定期テスト ・ワークシートへの記述 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	生活の課題と実践 (1編3章 食品の選択と購入) (3編1章 災害への対策・持続可能な住生活を目指して)	・災害時の食生活の課題と工夫 ・災害時を想定した調理の工夫 ・災害時の一日分の献立	・災害時の食料問題とローリングストック法について知る。 ・災害時にできる料理の具体例を知り、実践する。 ・災害時の一日分の献立を立てる。
	3章 調理のための食品の選択と購入	・食品の選択と購入 ・生鮮食品の特徴 ・加工食品の特徴 ・食品の保存と食中毒防止	・食品の選択と購入のために必要な情報について知る。 ・生鮮食品の特徴や表示の内容について知る。 ・加工食品の特徴や表示の内容について知る。 ・食品の適切で安全な扱い方について知る。
	4章 日常食の調理と地域の食文化	・日常食の調理 ・野菜・いもの調理 ・肉の調理 ・魚の調理	・調理上の安全、衛生や食品の性質を知る。 ・調理の基礎的な技能を知る。 ・野菜・いもの調理上の性質を知る。 ・適切な野菜の切り方と調理法で豚汁を作る。 ・肉の調理上の性質を知る。 ・適切な火加減でハンバーグを作る。 ・魚の調理上の性質を知る。 ・適切な火加減で鰯のかば焼きを作る。

第2学年 CAN-DOリスト形式の学習到達目標【鴨方中学校】

NEW CROWN

外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを回る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

領域別の目標

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
ア はっきりと話されれば、適宜視覚情報等を参考に、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、適宜視覚情報等を参考に、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようになる。 ウ はっきりと話されれば、適宜視覚情報等を参考に、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようになる。	ア 日常的な話題について、適宜視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、適宜視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、適宜視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようになる。	ア 関心のある事柄について、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようになる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようになる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて話すことができるようになる。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようになる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようになる。

評価の方法
・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動 ・スキット作り ・授業観察(ペアワーク・グループワーク) ・言語活動への取り組み

2 学期	学期末の言語活動(パフォーマンス評価)	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
	【書くこと】人気のあるものを調べて、海外の中学生に教えるレポートを書く。		

	中心となる言語活動	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
Reading Informati on3	公園の看板を読んで、自分が必要とする情報を読み取る。		公園の看板を読んで、自分が必要とする情報を読み取ることができる。					
GET Plus5	「～する方法」について「how to～」の表現を用いて対話する。			「～する方法」について「how to～」の表現を用いて対話することができる。		方法や場所についてたずねた内容を英文で書くことができる。		
Take Action! Talk4	電話でいっしょに出かける日について対話する。			電話でいっしょに出かける日について、誘ったり、その誘いに応じて断ったりしながら対話することができる。				
Take Action! Listen4	ラジオから流れるイベント情報を聞く。	ラジオから流れるイベント情報を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。						
Lesson5	日本の中学生に人気のあるものを調べて、その結果をまとめたレポートを書く。		ニュージーランドの姉妹校の先生から届いたメールを読んで、その要点を把握することができる。	比較級・最上級を使って、クイズをだしたり、答えたりできる。		日本の中学生に人気のあるものを調べて、その結果をまとめたレポートを書くことができる。		
Reading for Fun 1	『附子』を原作にした物語を楽しみながら読む。		狂言の『附子』を原作にした物語を楽しみながら読むことができる。					
Reading Informati on2	レストランのメニューを読んで、自分が必要とする情報を読み取る。		レストランのメニューを読んで、自分が必要とする情報を読み取ることができる。					
GET Plus4	「しなければならない」ことについて「have to～」の表現を用いて対話する。			「しなければならない」ことについて「have to～」の表現を用いて対話することができる。		「しなければならない」ことについて「have to～」の表現を用いて英文をかくことができる。		
Take Action! Talk3	夏休みの出来事について対話する。			夏休みの出来事について、つなぎ言葉を使ったり、詳しい説明を求めたりしながら対話することができる。				夏休みの思い出を発表することができる。
Take Action! Listen3	空港でのアナウンスを聞いて自分が必要とする情報を聞き取る。		空港でのアナウンスを聞いて自分が必要とする情報を聞き取ることができる。					
Lesson4	行ってみたい国について、理由などを添えてエッセイを書く。		ウルルについて書かれたガイドブックのコラムを読んで、その要点を把握することができる。	どんな時にどんな気持ちになるか、対話することができる。		行ってみたい国について、理由などを添えてエッセイを書くことができる。		おすすめのツアープランを紹介することができる。
GET Plus3	禁止や命令を表す表現を用いて対話する。			禁止や命令を表す表現を用いて対話することができる。		禁止や命令を表す表現を用いて対話した内容を英文で書くことができる。		
Lesson3	サイコロを使って、即興で町紹介のスピーチをする。	ウルカ・ウォータープロフェクトの記事を読んで、その概要を把握することができる。		オリンピックのどのスポーツ観戦が楽しかったか、理由を加え、会話することができる。	サイコロを使って町紹介のスピーチをすることができる。	There is (are) を使い、3文以上で町紹介の英文を書くことができる。	「自分の町紹介」をすることができる。	日本のことを紹介することができる。

鴨方中学校

シラバス

【 令和3年度 2学期 】

第3学年



氏名

国 語	第3学年 2学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	国語3（光村図書）		

学 習 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次のとおり。 （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し、適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身に付けることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。		
評 価 の 観 点	①知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	
	②思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。	
評価の方法		・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・聞き取りテスト ・ワークシートへの記述内容 ・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み ・作品 ・発表内容 ・振り返り活動 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学 期	4 状況の中で	挨拶 故郷 聞き上手になろう 推敲 論理の展開を整える 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字の造語力 漢字に親しもう3	・ 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 ・ 作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ・ 伝統的な言い回しを理解し、その効果を考え、自分の表現に生かす。 ・ 国語辞典や漢和辞典を活用する。
	5 自らの考えを	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 議論 話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう	・ 情報の信頼性を確かめながら読む。表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。

2 学 期	6 いにしえの心 を受け継ぐ	初恋 漢字に親しもう4 和歌の世界 古今和歌集 仮名序 万葉・古今・新古今 奥の細道 古典名句名言集	• 作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。 • 国語辞典や漢和辞典を活用する。 • 時代の異なる3つの歌集の特徴を大まかに捉える。 • 語句の使い方や表現の効果に注意しながら音読し、古典の世界に親しむ。 • 詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しむ。 • 作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。 • 歴史的背景などに注意し、表現の仕方や文体の特徴に着目して読み味わう。 • 文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。
-------------	-------------------	---	--

社会	第3学年 2学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	新しい社会 公民（東京書籍）		

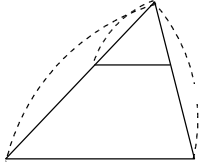
学習目標	(1)課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。 (2)広い視野をもって、平和で民主的な社会を担う公民として必要な力を身につける。		
評価の観点	①知識・技能	・社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 ・様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。	
	②思考・判断・表現	・社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。	
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ・ワークシートの内容 ・振り返りシート ・ノート（まとめ、整理） ・定期考査 ・小テスト ・課題（取組のようす） など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	○個人の尊重と日本国憲法	・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障	・日本国憲法の基本原理を理解すると共に、憲法の重要性について考える。 ・日本国憲法が人権を保障していることの意義を理解し、さまざまな人権について整理する。 ・新しい人権が生まれてきた対立の背景を調べ、自己の意見をまとめ発表する。
	○現代の民主政治と社会	・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち	・民主主義の考え方を理解し、政治に参加する重要性について考える。 ・国の立法・行政・司法について知り、三権分立について整理し、まとめる。 ・地方自治の精神を理解し、自己の政治参加について意見をまとめ発表する。
	○私たちの暮らしと経済	・消費生活と市場経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融	・より良い消費生活を送るために、消費者の権利と自立について理解する。 ・生産活動において、労働者の権利を保障することの重要性について考える。 ・市場経済のしくみ、価格や金融の働きについて理解し、経済と金融のグローバル化の、自己の生活への影響についてまとめ発表する。

数学	第3学年 2学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがる 数学3（啓林館）		

学習目標	（１）身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 （２）数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとするすることができる。		
評価の観点	① 知識・技能	- 数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 - 計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 - ともなって変わる2つの数量について、表、式、グラフで表すことができる。	
	② 思考・判断・表現	- 身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いて分かりやすくまとめることができる。 - 図形の性質を論理的に確かめることができる。	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	- 数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 - 自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。	
評価の方法		- 授業観察（話し合い活動・発表） ・ ノート ・ 振り返り活動 - 課題 ・ 定期テスト ・ 小テスト など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動の例
2学期	3章 二次方程式 1節 二次方程式 2節 二次方程式の利用	- 二次方程式と因数分解 - 二次方程式の利用	- 因数分解を使って二次方程式を解く。 - 面積が分かっている畑の中に作られた道の幅を方程式を使って求める。
	4章 関数 $y = ax^2$ 1節 関数とグラフ 2節 関数 $y = ax^2$ の値の変化 3節 いろいろな事象と関数	- 関数$y = ax^2$ - 関数$y = ax^2$のグラフ - 関数$y = ax^2$の値の増減と変域 - 関数$y = ax^2$の変化の割合 - 関数$y = ax^2$の利用 - いろいろな関数	- 関数$y = 3x^2$の特徴を考える。 - 関数$y = x^2$のグラフをかく。 - 関数$y = 2x^2$について、$-1 \leq x \leq 2$のときyの変域を求める。 - 関数$y = x^2$について、xの値が1から3まで増加するときの変化の割合を求める。 - 時速100kmで走る自動車の制動距離を求める。 - レンタサイクル店で自転車を借りるときの借りる時間と、料金の関係を考える。

2 学 期	5章 図形と相似 1節 図形と相似	- 相似な図形 - 三角形の相似条件 - 三角形の相似条件と証明	- 大きさは違って、形は同じ図形の辺の長さや角の大きさを求める。 - 図の中から相似な三角形を見つける。 2つの三角形が相似であることを説明する。
	2節 平行線と線分の比	平行線と線分の比	下の図で、$PQ \parallel BC$のとき、AQの長さを求める。
			
	3節 相似な図形の計量	- 中点連結定理 - 相似な図形の面積 - 相似な立体の表面積と体積	- 四角形 ABCD の4 辺の中点をつないでできる四角形がどんな四角形になるか考える。 - 相似な2つの図形で、一方の面積を手掛かりに他方の面積を求める。 - 相似な2つの立体で、一方の体積を手掛かりに他方の体積を求める。
	4節 相似の利用	相似の利用	縮図をかくて、2 地点間の距離を求める。
	6章 円の性質 1節 円周角と中心角	- 円周角と中心角 - 円周角の定理の逆	- 円の性質を使って、角の大きさを求める。 - 下の図で、$\angle APB = \angle ACB$ならば、4点A, B, C, Pは同じ円周上にあることを説明する。
	2節 円の性質の利用	円の性質の利用	円の性質を使って、円の接線を作図する。

理科	第3学年 2学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス3（啓林館）		

学習目標	○水溶液とイオン、物体にはたらく力や運動のようす、エネルギー、身近な天体の動きなど、物質やエネルギー、天体に関係することを科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。 （１）化学電池や酸性・アルカリ性の水溶液とイオンとの関係性、力の合成と分解、物体の運動のようす、仕事とエネルギー、身近な天体の種類や動きに関する基本的な内容が理解できる。 （２）実験器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。 （３）学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見いだすことができる。		
評価の観点	①知識・技能	- 化学電池や酸・アルカリの性質とイオンとの関連性について理解している。 - 水の中にある物体にはたらく力や力の合成・分解について理解している。 - 物体の運動のようすやエネルギー、仕事について理解している。 - 多様なエネルギー資源の利用やその有効利用について理解している。 - 身近な天体（太陽や恒星）の種類とその1日の動き、天体の動きと季節の変化との関連性について理解している。 - 記録タイマーなどの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。	
	②思考・判断・表現	- 酸・アルカリなどの水溶液を用いた実験を行い、水溶液の中で起きた変化を見だし、イオンと関連づけて説明することができる。 - 物体にはたらく力を見出し、それらの関係性について図を用いて説明することができる。 - 物体の運動のようすを記録し、その結果から物体にはたらく力と運動のようすとの規則性を見出し、説明することができる。 - 物体に対する仕事やエネルギーについて、日常の体験と関連付けながら説明することができる。 - 太陽の1日の動きの観察を行い、その結果から規則性を見出し、地球の自転と関連付けて説明することができる。 - 季節による太陽の南中高度の変化や星座の位置などの観察を行い、その結果を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて説明することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	- 水溶液、物体にはたらく力と運動のようす、エネルギー、天体などの観察・実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 - グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりし、科学的に探究しようとしている。	
評価の方法		- 授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） - 定期テスト - ワークシートへの記述の内容 - パフォーマンステスト - 章ごとの小テスト - 観察や実験のレポート - 自己評価シート など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	化学変化とイオン	電池とイオン 酸・アルカリと塩	- 金属の種類とイオンへのなりやすさについて実験を通して学ぶ。 - ダニエル電池のしくみについて実験を通して学ぶ。 - 身のまわりにある電池について学ぶ。 - 酸性・アルカリ性の水溶液に共通する性質について実験を通して学ぶ。 - 酸性やアルカリ性の性質の決め手となる物質について実験を通して学ぶ。 - 酸性・アルカリ性の性質と pH との関係性について学ぶ。

学 期	単元・題材	学習内容	学習活動
2 学 期	運動とエネルギー 宇宙を観る	力の合成と分解 物体の運動 仕事とエネルギー 多様なエネルギーとその 移り変わり エネルギー資源とその利 用 地球から宇宙へ 太陽と恒星の動き	・酸性とアルカリ性の水溶液を混ぜたときに起こる変化について実験を通して学ぶ。 ・水中の物体にはたらく力について学ぶ。 ・1つの物体にはたらく2つの力を合成した力について作図を通して学ぶ。 ・1つの力を2方向に分解する方法について作図を通して学ぶ。 ・平均の速さと瞬間の速さについて学ぶ。 ・水平な面の上での物体の運動のようすについて実験を通して学ぶ。 ・斜面の上にある物体の運動について実験を通して学ぶ。 ・2つの物体の間にはたらく力の関係(作用・反作用の法則)について学ぶ。 ・物体におよぼす仕事について学ぶ。 ・滑車やてこなどの道具を使ったときの仕事について学ぶ。 ・仕事の能率(仕事率)について学ぶ。 ・位置エネルギーと運動エネルギーの関係(力学的エネルギーの保存の法則)について学ぶ。 ・エネルギーが移り変わるとき、その前後の総量は変化しないことを学ぶ。 ・熱の伝わり方について学ぶ。 ・人間が使用しているエネルギー資源について学ぶ。 ・さまざまな発電について学ぶ。 ・エネルギーを利用するうえでの課題について学ぶ。 ・エネルギーの有効利用について学ぶ。 ・天体望遠鏡の使い方について学ぶ。 ・恒星の明るさや距離について学ぶ。 ・太陽系にふくまれる天体について学ぶ。 ・太陽について学ぶ。 ・太陽の1日の動きについて観測を通して学ぶ。 ・季節の変化が起こる理由について学ぶ。 ・季節によって太陽の南中高度や気温が変化することについて学ぶ。 ・星の1日の動きについて学ぶ。 ・地球の公転と四季の星座の移り変わりとの関係について学ぶ。

音楽	第3学年 2学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	中学生の音楽2・3上下（教育芸術社）、器楽（教育芸術社）		

学習目標	（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 （２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。		
評価の観点	①知識・技能	- 日本の伝統音楽の学習を通して、音楽の多様性について理解することができる。 - ギターの特徴を知り、ふさわしい音色や奏法を工夫して演奏することができる。 - 歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、情景を思い浮かべながら、言葉を大切に表現豊かに歌うことができる。	
	②思考・判断・表現	- 声や楽器の音色、言葉の抑揚、旋律、リズム、速度などの特徴を感じ取りながら、日本の伝統音楽のよさを味わうことができる。 - 旋律やリズムなどの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	
	③主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
評価の方法		- 実技テスト ・ 授業プリント ・ ワークシートへの記述内容 ・ 定期考査 - 授業観察（個人練習、グループ活動） ・ 振り返り活動 ・ 課題 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	歌唱	帰れソレントへ	速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫する。
	器楽	ギター	楽器の特徴を知り、ふさわしい音色や奏法を工夫して演奏する。
	創作	言葉でリズム	身近な言葉を音符であらわし、楽譜で表現する。
	鑑賞	日本の伝統音楽	日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わう。

美術	第3学年 2学期	授業時間数	1 時間／週
教科書（発行所）	美術2・3上下 学びの実感と広がり、学びの探求と未来（日本文教出版）		

学習目標	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 (2) 美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできる。 (3) 創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。		
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。	
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分や他の人の作品を自分なりに批評したりすることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。	
評価の方法		・授業観察 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・振り返り活動 ・鑑賞プリント ・作品 ・定期考査 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	トリックアート	視点が変わると絵が動く トリックアートの制作	・トリックアートの本紙・台紙に下描きをして、絵の具で色を塗る。 ・本紙を台紙にはめ込み、両面テープで固定して完成させる。 ・クラスで作品の鑑賞会を行う。
	卒業制作～私の一番の思い出の瞬間～	中学校3年間の中で一番印象に残った瞬間を粘土で立体的に表現する	・中学校3年間で、一番印象に残った瞬間をワークシートに描く。 ・人の形をした芯材に粘土をつけていき、思い出の瞬間の動きを表現する。乾燥させて絵の具で色を塗る。
	江戸時代の画家たち～琳派・伊藤若冲～	江戸時代の代表的な作家の作品を鑑賞する	・江戸時代の琳派や伊藤若冲の作品を鑑賞し、その良さを感じる。

保健体育	第3学年 2学期	授業時間数	3時間／週
教科書（発行所）	新しい保健体育（東京書籍）		

学習目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。		
評価の観点	①知識・技能	それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。基本的な技能を身に付けることができる。	
	②思考・判断・表現	運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを大切にすることができる。 - 心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。	
評価の方法		- 授業観察 - スキルテスト - 保体資料ノート - 振り返りシート - 定期考査 - など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	- ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。 - 集団行動について学ぶ。
	陸上競技	リレー	テークオーバーゾーン内での減速のないバトンの受け渡し。
	球技	ベースボール型 ゴール型 ネット型	- 基本的な動作・用語を覚える。 - 基本的な技能を習得する。 - ルールを覚え、試合をする。
	保健	健康な生活と疾病の予防	感染症の広がり方、感染症の予防、性感染症の予防、エイズの予防、医薬品の利用、保健・医療機関の利用、健康を守る社会の取組について学習する。

技術	第3学年2学期	授業時間数	0.5時間/週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。
------	---

評価の観点	① 知識・技能	生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけている。
	② 思考・判断・表現	生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決することができる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫することができる。
評価の方法	・授業態度 ・自己評価 ・レポート ・発表 ・作品 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	4編 情報に関する技術	じゃんけんプログラムの作成	・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。
	第2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	課題に合わせたプログラムの作成	・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムを制作する。
	第3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決	問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を考える	・使用するメディアの効果的な利用方法やコンテンツの構想を考える。

家庭	第3学年 2学期	授業時間数	0. 5時間/週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）		

学習目標	(1) 幼児の体の特徴を体験し、配慮する点に気づくことができる。 (2) 子どもが育つ環境としての家族の役割を理解できる。 (3) 高齢者の特徴を知り、関わり方の工夫が考えられる。 (4) 地域の中で協力・協働しながら生活することの大切さがわかる。		
評価の観点	①知識・技能	・幼児の発達と生活の特徴がわかる。 ・家族の立場や役割と家庭生活と地域の関わりについてわかる。 ・高齢者の身体的特徴と介護などの関わり方がわかる。	
	②思考・判断・表現	・幼児との関わり方の問題を見つけ、その中から課題を決め、解決策を考えて実践・改善しながら、考察したことを文章で表現することができる。 ・家族関係をよくする方法や高齢者など地域の人々との関わりについて課題を見つけ、解決策を考えて実践・改善しながら、考察したことを文章で表現することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題解決に向けて取り組み、改善・実践しようとしている。	
評価の方法		・授業態度 ・課題 ・プリント ・レポート ・発表 ・振り返り活動 ・定期テスト ・ワークシートへの記述 など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
2学期	5編 私たちの成長と家族・地域 2章 幼児の生活と家族	・幼児との関わり方の工夫 ・幼児との交流 ・子どもにとっての家族	・チャイルドスコープを使い、幼児の身体的な特徴を体験し、幼児との関わり方を考える。 ・地域の保育園で、幼児の発達に応じた関わりをする。（実施できないときは、映像を見る。） ・子どもが育つ環境としての家族の役割について知る。
	3章 これからの家族と地域	・家族との関わり ・家族や地域の高齢者との関わり ・地域での協働を目指して。	・家族の役割や家庭の機能について知り、家庭で自分にできる役割を考える。 ・高齢者の体の特徴を知り、それを踏まえた関わり方を考える。 ・地域の中で協力・協働しながら生活していく大切さを知り、中学生としての地域の人々との関わり方を考える。

第3学年 CAN-DOリスト形式の学習到達目標【鴨方中学校】

NEW CROWN

外国語科の目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

領域別の目標						評価の方法
聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短し説明の要点を捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動 ・スキット作り ・授業観察(ペアワーク・グループワーク) ・言語活動への取り組み	

2 学期	学期末の目標 (パフォーマンス評価)	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
	【話すこと(発表)】自分の行きたい場所とそこでしたいことについてスピーチをし、友達の見聞を聞いて、自分の考えを伝えることができる。 【話すこと(やり取り)】サンドイッチショップの店員に英語で注文することができる。		

	中心となる言語活動	聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
GET Plus2	「If I were you」を用いて相談したり、アドバイスしたりする。			「If I were you」を用いて相談したり、アドバイスしたりすることができる。		アドバイスした文を正確に書くことができる。		
Take Action! Talk6	感謝の気持ちの伝え方を話し合う。			感謝の気持ちの伝え方について議論に参加したり、議論を進めたりすることができる。				
Take Action! Listen6	スピーチを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。	スピーチを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。						
Lesson6	卒業スピーチで発表されたスピーチの原稿を読んで、その要点を把握する。		卒業スピーチで発表されたスピーチの原稿を読んで、その要点を把握することができる。			身の回りのものや動物になったつもりで、I wishを使った詩を書くことができる。		
Reading Information3	イベントのチラシを読んで、自分が必要とする情報を読み取る。		イベントのチラシを読んで、自分が必要とする情報を読み取ることができる。					
Take Action! Talk5	サンドイッチショップで店員と対話する。			サンドイッチショップで食事を勧めたり、それを承諾したり断ったりしながら対話することができる。			ランチメニューを考えることができる。	
Take Action! Listen5	落とし物の問い合わせを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。	落とし物の問い合わせを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。						
Lesson5	イベントや学校行事への招待状を正確に書く。		キング牧師の伝記を読んで、その概要を把握することができる。		日本の中学生の生活についての街頭インタビューに即興で答えることができる。	イベントや学校行事への招待状を正確に書くことができる。		
Reading Information2	ゴミの分別ルールを読んで、自分が必要とする情報を読み取る。		ゴミの分別ルールを読んで、自分が必要とする情報を読み取ることができる。					
Reading for Fun 1	ネコのソルバとカモメのラッキーの物語を楽しみながら読む。		ネコのソルバとカモメのラッキーの物語を楽しみながら読むことができる。					
Take Action! Talk4	困っている海外からの旅行者に道案内をする。			困っている海外からの旅行者に、交通経路を説明しながら道案内をすることができる。			宝物への道案内をすることができる。	
Take Action! Listen4	ラジオのニュースを聞いて、話の全体的な内容を聞き取る。	ラジオのニュースを聞いて、話の全体的な内容を聞き取ることができる。						
Lesson4	ボランティアに応募するための自己PRカードに、自分のアピールポイントなどが伝わるように書く。		日本の漫画とアニメを紹介する雑誌の記事を読んで、その概要を把握することができる。			ボランティアに応募するための自己PRカードに、自分のアピールポイントなどが伝わるように書くことができる。		